

科目分類	専門職の教育			開講学科	医療情報学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
15130	3	通年	必修	2	90
授業科目名 (英文)	インターンシップ (企業等) (Internship)				
担当教員名	深澤 弘美				
授業の概要及び到達目標					
<p>【概要】 就職に対する意識を醸成し、職業適性や自身の将来設計について考える機会を与え、主体的な職業選択の意識を育成する。具体的には、大学の座学・演習等で学修した知識と技術が、企業等の実社会での就業とどのように結びついているかを、学内にける企業調査、企業等における労働体験あるいは企業担当者の講義等から学修する。更に、体験した内容や調査した内容は発表会を通じて、学生間で議論し情報の共有を図る。</p> <p>【到達目標】 社会参加を通じて社会人とのコミュニケーション能力、社会的責務とマナー並びに倫理観等を獲得するとともに、職業選択の幅を広げ個々の学生のキャリアアップを図る。</p>					
準備学習等					
<p>【事前学修】 本科目は、キャリア教育Ⅰ、キャリア教育Ⅱでの学習を前提しているため、各自作成した就活ノート等の内容を振りかえり、各自のインターンシップに参加してみたい業種や企業等について調べる。</p> <p>【企業等でのインターンシップ】 参加する企業等の概要について調べ、インターンシップにおいて何を学ぶか計画をたてる。</p> <p>【事後学修】 他の学生が参加した企業等についても事前学修し、実習報告会で積極的に質問ができるように準備しておく。</p>					
成績評価の方法	実習先施設による評価：50% 実習後レポート：35%、実習前レポート等課題（15%） ただし、遅刻・欠席した場合は、単位認定しない				
テキスト	特にはなし				
参考図書	必要の都度、紹介する				

備 考	本科目はキャリア教育Ⅲ、病院実習および就活支援講座等と連携しながら進める。卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、履修系統図をご確認ください。
-----	---

授 業 計 画

【事前学修】

回	授業予定
1	企業等でのインターンシップの目的・概要、実習先の説明、諸注意等ガイダンス
2	EQ 検査（実習前）
3	自らのコミュニケーション傾向を把握し、実習において留意する点を整理する。
4	特別講義①（インターンシップ先企業による事前講義）
5	特別講義②（インターンシップ先企業による事前講義）
6	特別講義③（インターンシップ先企業による事前講義）
7	特別講義④（インターンシップ先企業による事前講義）
8	事前学習のまとめ

【企業等での実習】

企業等での就業経験等の実習時間数は40時間（8時間/日で5日間）以上を原則とする。ただし、受け入れ企業における実習内容等に応じて増減することもある。

※大学から紹介できる実習先には限りがあるため各自自主的にインターンシップ先企業等を開拓することが必要である。

【事後学修】

回	授業予定
1	報告会①
2	報告会②
3	EQ 検査（実習後）

科目分類	専門職の教育			開講学科	医療情報学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
15130	3	前期	選択	2	90
授業科目名 (英文)	インターンシップ (病院) (Internship at Hospitals)				
担当教員名	◎瀬戸 僚馬/西大 明美				
授業の概要及び到達目標					
<p>病院実習では、医療施設の各組織において発生する医療情報の種類と役割、またその情報の取り扱い、更に専門職の役割や業務内容を現場で学ぶことで、大学の講義で学んだことを実際に医療現場で確認し、学んだ知識をより確実にし、更には医療現場における専門職の倫理観を学ぶ。</p> <p>これらの実習計画を立案し、診療情報管理に関する実務を経験し、卒業後に自らがどのような専門性を発揮する職業人として医療・保健に貢献するのか考察できることを到達目標とする。</p>					
準備学習等					
<p>【事前学習】 本科目は、履修条件に指定している科目の単位取得を前提にしている。また、医療情報基礎知識検定試験で求めている水準の基礎知識は既に修得しているものと見なしている。よって当該科目や試験に不安がある場合、テキスト、参考図書を用いて、各自で復習しておく。また、EQ 検査を通じて明らかになった改善点についても、各自で十分に振り返りを行う。</p> <p>【施設実習】 配属部署での翌日の業務について、テキスト及び参考図書を使用して、事前学習を行う。</p> <p>【事後指導】 配属部署業務以外（後日配布する病院実習記録 P1 病院実習の目標を参照）について参考図書を使用して事前学習し、実習報告会で積極的に質問が出来るようにしておく。</p>					
成績評価の方法	実習先施設での評価(50%)、実習後レポート(30%)、小テスト(20%)。なお、 <u>事前学習中を含め遅刻・欠席は大幅に減点する。</u> ※履修に関する諸規定は、後日配布の実習要項参照				
テキスト	「診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲ診療情報管理編第5版」 (日本病院会) 「診療報酬はやわかりマニュアル」「DPCはやわかりマニュアル」 (医事課での実習を含む場合、田辺三菱製薬のホームページから各自でダウンロード)				
参考図書	「医療現場のための病院経営のしくみ」(日本医療企画) ※ 「DPC 請求 NAVI」(医学通信社) ※ 「診療情報学」(医学書院) ※ 「診療情報管理パーフェクトガイド」(医学通信社) ※ 「最新診療情報管理マニュアル」(医学通信社) ※ 「診療情報管理士のためのやさしい統計学」(じほう) ※ 「医療の質を測り改善する 2018」(インターメディカ) ※ 「病院早わかり読本」(医学書院) ※ 「診療情報管理士教育問題集 2017 専門 診療情報管理編」(日本病院会) ※				

備 考	<p>① 「平成 31 年度実習系科目(インターンシップ・病院実習)の履修における注意事項」に記載したこの科目の基本的な考え方をよく読み、納得した上で履修すること。</p> <p>② 病院実習記録のファイルは毎回持参すること。なお、この授業のスライドは配布しないので、こまめにメモを取るように心がけること。</p> <p>③ 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。</p> <p>④ オフィスアワーは基本的には火曜日ですが、詳細はデスクネットを確認してください。また、実習中に相談したい場合は、教員にメールで連絡して下さい。</p>
-----	---

授 業 計 画

【事前学修】

回	授業予定【提出物】
1	病院実習の目的・概要、実習先の説明 【誓約書・履歴書提出】
2	E Q 検査（実習前） 自らのコミュニケーション傾向を把握し、実習において留意する点を整理する。
3	病院実習における諸注意 病院の特性を再確認し、実習において留意する点を理解する。
4	実習先病院の調査及び実習目標の立案 【実習記録（実習目的・目標や病院概要等）提出】
5	事前学習のまとめ 【抗体検査証明書提出】

※実習記録（実習目的・目標や病院概要等）が不十分な場合、再提出を求める。これに合格するまでは実習に行けないので丁寧に記載すること。

【施設実習】

2週間程度の施設実習を行う。

※病院との協議により、実習期間を変更する場合がある。

※自己開拓希望者は別途調整する。

【事後学修】（報告会の回数は履修者数等により適宜増減する。）

回	授業予定
1	実習報告会①
2	実習報告会②
3	実習報告会③
4	実習報告会④
5	実習報告会⑤
6	E Q 検査（実習後） 実習を通じて自らがどのように変化したのか振り返り、レポートにまとめる。

実習報告会で発表は上記のうち1回だが、他の回の出席も必須。

※10月以降に実習を終える学生の報告会は、個別に開催。

科目分類	専門職の教育			開講学科	医療情報学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
15130	3	通年	必修	2	90
授業科目名 (英文)	インターンシップ (学内) (Internship)				
担当教員名	駒崎 俊剛				
授業の概要及び到達目標					
<p>【概要】 就職に対する意識を醸成し、職業適性や自身の将来設計について考える機会を与え、主体的な職業選択の意識を育成する。具体的には、大学の座学・演習等で学修した知識と技術が、企業等の実社会での就業とどのように結びついているかを、学内にける企業調査あるいは企業担当者の講義等から学修する。更に、体験した内容や調査した内容は発表会を通じて、学生間で議論し情報の共有を図る。</p> <p>【到達目標】 企業調査、医業経営管理能力検定の取得を通じて社会人とのコミュニケーション能力、社会的責務とマナー並びに倫理観、企業・病院の財務分析能力等を獲得するとともに、職業選択の幅を広げ個々の学生のキャリアアップを図る。</p>					
準備学習等					
<p>【事前学修】 本科目は、キャリア教育Ⅰ、キャリア教育Ⅱでの学習を前提しているので、各自作成した就活ノート等の内容を振りかえり、各自の関心のある業種や企業等について調べる。</p> <p>【企業調査】 企業研究キャリア講座で講演する企業の概要を調べる。</p> <p>【医業経営管理能力検定】 医療・医療制度・政策、地域医療計画・地域介護計画、財務管理、人事労務管理、経営管理について、テキストをもとに理解したことについて整理しておく。</p> <p>【事後学修】 他の学生が実習に参加した企業等についても事前学修し、実習報告会で積極的に質問ができるように準備しておく。</p>					
成績評価の方法	企業調査レポート：50% 医業経営管理能力検定試験相当の小試験：35% 実習前レポート等課題：15% ただし、遅刻・欠席した場合は、単位認定しない				
テキスト	『医業経営管理能力検定テキスト』日本医業経営コンサルタント協会				
参考図書	必要の都度、紹介する。				
備考	本科目はキャリア教育Ⅲ、病院実習および就活支援講座等と連携しながら進める。卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、履修系統図をご確認ください。				

授 業 計 画

【事前学修】

回	授業予定
1	企業等でのインターンシップの目的・概要、実習先の説明、諸注意等ガイダンス
2	EQ 検査（実習前）
3	自らのコミュニケーション傾向を把握し、実習において留意する点を整理する。
4	特別講義①（インターンシップ先企業による事前講義）
5	特別講義②（インターンシップ先企業による事前講義）
6	特別講義③（インターンシップ先企業による事前講義）
7	特別講義④（インターンシップ先企業による事前講義）
8	事前学習のまとめ

【企業調査】

企業研究キャリア講座に全て出席し、企業担当者の講義を受講する。また、受講にあたり事前に調査を行い、質問を積極的に行う。（12回）

【医業経営管理能力検定】

回	授業予定
1	医療・医療制度・政策
2	地域医療計画・地域介護計画
3	財務管理（医業財務，医療機関の会計）
4	財務管理（病院の開設主体，管理会計分野における手法）
5	財務管理（医業経営指標，医療機関の資金調達，税金）
6	人事労務管理
7	経営管理
8	模擬試験

【事後学修】

回	授業予定
1	報告会①
2	報告会②
3	EQ 検査（実習後）

事後学習では、業調査の結果と医業経営管理能力検定での学習成果を発表する。